

## ● 信仰奨励章の取得要件 (教育規程 施行細則 7-6-1)

信仰奨励章の取得要件は次のとおりとする。

- 1) 初級以上のボーイスカウト、またはベンチャースカウトであること。
- 2) 隊や班の活動の中で行うスカウトタウン・サービスに参加する。(初級課目 5. 信仰奨励と共通)
- 3) スカウトタウン・サービスで、「ちかい」と「おきて」を日常で実践したことや、感じたことを発表する。(2級課目 5. 信仰奨励と共通)
- 4) スカウトタウン・サービスを行うにあたって、実施内容と手順を考える。(1級課目 5. 信仰奨励と共通)
- 5) 「アンノウンスカウト」の逸話を調べ、適切な表現形式(劇・紙芝居など)で隊の仲間や他の人々に伝え、自分の「日々の善行」の実践のようすについて話す。
- 6) 隊や班で行える奉仕活動を考え、隊長の指導のもとに実施する。または、要請のあった奉仕活動に積極的に参加する。
- 7) 自分の家の宗教(派)か、興味を持った宗教(派)の宗教儀礼、宗教行事を知る。可能であれば参加する。
- 8) 自分の家の宗教(派)か、興味を持った宗教(派)の教導職から信仰や宗教について話を聞く。
- 9) B-Pのラストメッセージを読んで、隊や班で話し合う。

## 宗教の教え

この世の中には、多くの宗教、教宗派があり教義に基づく教えを説いている。その教えは人間として幸福に生きられるよう、そして誰もがやがて訪れる死を迎えたときに平穩にそのときを迎えられ、安らかに旅立てるように生き方を説いたものである。

ベーデン-パウエルは、1922年その著書「ローバーリング・ツウ・サクセス」の中に、「君たちが成功～すなわち幸福～への道へ歩みをふみ出そうとするならば、無宗教ないかもの師\*の仲間にひき入れられるのを防ぐだけでなく、君の生活に宗教的な基盤をもたせなければならない。」と述べている。神とか仏に対する尊敬の念は、このようにスカウト運動の根源である。また、今日においてますますその必要度が増加している。

日本のスカウトの「ちかい」の第1に、神(仏)に誠を尽すことがあげられ、ボーイスカウト日本連盟の教育規程の中に「本連盟は、本運動に参加する者が明確な信仰をもつことを奨励する。」とスカウトとして信仰に対する基本方針をかかげている。

宗教を信仰するということは、その信仰の対象である教宗派の教えを知ることであり、その教えを受容することで、教えに則った生き方をする教義を守ることがで